

日本語教室 高島公民館開講式



高島日本語教室開講式であいさつをする井上代表

7月14日(火)、かねてから準備を重ねていた高島地域での日本語教室を、という願いが、実現することになりました。高島公民館の二階力で、10人ものボランティアが、中国語を教わりながら、あるいは、他の教室を見学したりしながら、少しずつ、助走をしていたところでした。

この日の開講式には、帰国者2人、高杉さん、篠原さん、日中友好協会岡山支部から理事3人、小林、貝吹、稲葉、日本語教室代表井上さん、公民館斉藤館長、ボランティア9人が出席、公民館職員吉田さんの司会

稲葉泰子



二胡の演奏で始まった倉敷支部の第五回総会

7月12日、日中友好協会の第五回総会が同市福田町のライフパークでひらかれました。午前10時、会員約30人の参加でひらかれた総会は、まず中国楽器二胡の演奏ではじまり、倉敷市長代理、日岡山支部理事長、医療生協労組委員長などから来賓あいさつがありました。

大森支部長の開会あいさつ、宮地事務局長の議案提案説明のあと出席者から活発な討論がありました。

☆☆ 栗本 泰治 ☆☆

① 経過
7月13日、2009年度の第1回理事会をひらきました。最近では最高の9人が参加しました。6月なかば田中理事に男の子が誕生、おめでとうございます。このひと月は、いろいろ集会がありました。入管法の問題については劉会長に原稿をおねがいしたい。日中全国大会があり決意など『友好新聞』をご覧ください。

② 内外情勢
いよいよ解散、国民の参政権を存分に使いたいもの。

③ 拡大と任務分担と文化活動
支部総会報告の現状から10%の拡大を目標として決定、理事のしごとを分担しました。郭沫若展が県立美術館でひらかれています。(8月23日まで)、姜波さんから日本女性との文学交流などお話が聞けそうです。10月はじめ頃文化講座を予定しています。



2009年度第1回理事会参加者のみなさん

中国旅行の計画があります。倉敷支部の企画に同調しようかと、申し込みは河井理事へどうぞ。
長いこと通訳と中国語講師で友好運動に力を貸してくれている南蓮さんが東京へひっこすことになりました。送別会が22日(水)又来軒であります。
城戸幹さん自身の本が出版されました。
『探 玉福 39年目の真実』
¥1500+税注文受付中。
投稿をお待ちします。400字ぐらいで。長文には中見出しをつけて。
竹内和夫

中国をもっと知りたい —倉敷支部 第五回総会—

討論の中では、中国の民族問題がよくわからない。もっと勉強したい、中国についての学習会を充実してほしい、帰国者支援事業をもっと充実させ、岡山県西部に支部をつくって県連の確立を、青年が中国に親しみを持つような活動を工夫してほしいという要望のほか、中国へ旅して現地を見て目からウロコが落ちた、日中アマチュア囲碁対局ツアーにぜひ参加したい、次の南京旅行に期待している、日中がふたたび戦うことのないようがんばりたいなどの声が寄せられました。

理事会だより

日中友好協会岡山支部

日中友好協会
おかやま

読字 萩原田 親

No. 579
2009/7/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0045 東京都千代田区
西船場1-1-1 東5号202号室

日中友好協会
岡山支部
〒713-8236
岡山市浜3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8011
倉敷市蓮島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

第58回全国大会参加記 その2

真田紀子

2日目は、朝9時から分散会です。少人数のところが良いと思ひ、第5分散会へ出席しました。約30名ほどの出席者でした。

前日の全体会で発言できなかった方を重点に、司会者が発言を促していきました。

大分県連から、発言内容を聞いているだけでは、後に残らないので、発言者は内容をまとめてレジメにして配って欲しいという要望が出されました。

シルクロード支部は、太極拳から生まれた支部で、会員90名のうち半数は受講生、太極拳の受講生に毎回ミニユースを発行している。都連の太極拳指導員の高

橋さんから、日中と太極拳のパイプ役になるのは指導員だと思ふ。「豚もおだてりや木に登る」ではないですが、がんばっている指導員をほめてあげてください。

福岡県連から、若い人をどう獲得するか、中国語講座を重視しなくてはいけない。若い人は学ぼうとしている。それを日中が吸収できていない。全国の大学に支部を作ろう。分散会ではなくて分科会が必要ではないか。

渋谷支部から、映画を通じて日中友好を学ぼう。映画を通して中国史を学べる。など、大変面白い意見が多く出ました。2時間半はあっという間に終わりました。

全国大会での発言

前号からの続き

岡山支部の中国語講座について

そこで、理事会で検討した結果、各クラスの講師やクラス委員（これまでも連絡網や、イベントの手伝いなどで、お願いしていた）に実情を説明し、各クラスで自主運営をお願いすることになりました。会場の押さえ（岡山市の公民館の使用料は、登録団体は無料）、出欠の確認、受講料の振り込みは、各クラス

の講師とクラス委員の担当。講師への講師料の振り込み、期毎の無料講座の開講のお知らせチラシ、ホームページでの宣伝などは日中友好協会の担当ということになりました。もちろん授業の行い方や教材は、講師と受講生の話し合いで決めていただく。各クラスとの連絡については、担当理事がメールで行う。講師は日中友好協会との情報を共有するためにも、新聞読者になっていただく。当初はうまくいくかどうか、手探りでしたが、何とか軌道に乗り、15期は9クラスで受講生は42名となつていま

す。入門が3クラス、初級が4クラス、中級と上級が各1クラスです。講師は4名が担当しています。公民館は3カ所に拡がっています。課題としては、各クラスのクラス委員とのコンタクトがうまく取れていなくて、人数の減っているクラスがあること、中国語受講生から会員が出ていくこと（これは働きかけ次第だということだが、会員のいるクラスでは新聞読者が増えている事からもわかる）、一度クラスになじむと上のクラスへと進む事が難しいこと、日中友好協会のイベントへの参

加が少ないことなどがあげられます。連絡を密にする一つの方策として、期毎に講師とクラス委員と理事との懇親会を開いています。成果としてクラス数が増えています。講師の働きかけの弱いクラスは伸び悩む状況があります。今後は、受講生に若い人が多く、女性が多いという特徴もある折角の中国語講座ですから、何とかこの方たちに、日中友好協会の活動の輪に加わっていただく、その知恵を探りたいと思つています。

真田紀子

パクキョソナム 朴慶南さんの講演会

『サラム（人）とサラン（愛）』思ひはつながらる』

明日への勇気をもろう

6月27日、天神山文化プラザで「サラム」主催の、朴慶南（パクキョソナム）さんの「サラム（人）とサラン（愛）思ひはつながる」と題する講演会が開催されました。この会は

平和の波2009おかやまの行事のひとつとして行われました。

内容は、日本と朝鮮半島の架け橋に、そして世界中から戦争がなくなることを願ったもので、さまざまな事例をもとに感情をこめて一生懸命

話されました。私は、福井県小浜市と朝鮮半島の交流について述べた歴史の光と闇（購入した本の一項目）が強く印象に残りました。講演中は、笑ったり、泣いたり、聞き終わった後には、元氣と人間への信頼、明日への勇気ももらいました。サイン入りの私以上でもなく、私以下でもない私」を1冊購入しました。

小林軍治

夢中で読んだ

サラムとサラン

私は、講演会を聞くという事は、はじめてだった。今回縁があつて、参加しました。だから何もわからないままに



サインをする慶南さん

参加し、お名前を聞いてもピンとこなくて男の人のお話しかかな？と思つておりまして。そして会場について、はじめて、女性でそれも在日韓国人二世の方、びっくりしました。でも始まつて、お話しを、聞いているうちに、共鳴できることもたくさんありました。

在日韓国人二世、ということとで、いっぱい、大変なことがあつたり、二人の子どものさんのお話し、私にもよく解りました。そして絶対、戦争はいけない、やっつては、いけないと話されました。戦争はお互いにどちらも苦しい、そして、いつも悲しい思いをするのは、我々、女性とか、下の方の者です。私にも息子がいますから、もし今、戦争が始まったら、赤紙一枚で息子を戦争にやりたくない、どんなことをしても守つてやりたい、と心の中で思つておりました。お話しが終わつて、出口の所で、本を並べていました。つい見てもしまい二冊買いました。本にサインをしてもらつた時に、ちゃんと覚えていて下さつて二番前の席にいらし

た人でしよう」と言つて下さいました。大ぜいの人の中で講演して汗だくで、お話しをしていらしたのに、覚えていてくれたもう感激です。帰つてからスグ夢中で「サラムとサラン」の本をあつという間に読んでしまいました。初めての経験、楽しいひととき、慶南さんのファンになつてしまいました。又楽しいお話しをききたいなあつと思つた一日でした。

高岡直美

次回の新聞発送作業は8月3日（月）午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

和 林内内井
小竹竹坪